

地域に根差し、人を取り結ぶ実践に期待する

目黒区障害者自立支援協議会 会長
早稲田大学人間科学学術院 准教授
岩崎 香



もえぎの会の皆様、およびもえぎの会を支援されている皆様、こんにちは。目黒区障害者自立支援協議会の会長を務めさせていただいております岩崎香と申します。一昨年、もえぎの会を見学させていただき、美味しい給食をいただきましたが、あれからあつという間に月日は流れ、障がい者に関する法制度も目まぐるしい変化をみせています。障害者自立支援法、その一部改正から、障害者総合支援法へと移りかわり、障がい者の領域でもサービス利用において、ケアマネジメントが導入されつつあります。

私も普段、都内の施設に理事および非常勤職員として長年かかわっておりますが、社会福祉基礎構造改革以後の福祉サービスに関しましては、市区町村との関係を抜きに語ることはできません。もえぎの会の活動もちろんそうですが、社会福祉サービスは地域に根差し、地域に貢献することを求められています。私もそこに、協議会という媒介を通してではございますが、何か貢献ができればと思っております。

また、研究者としての私の関心についてお話させていただきますと、障がい者の権利擁護について、取り組ませていただいております。2006年に国連で採択された「障害者の権利条約」の国内での批准に向けて、障害者基本法の改正を経て、障害者虐待防止法、障害者差別解消法などが矢継ぎ早に成立し、障がい者の人権という面でも障がい者福祉の領域は大きな転換期を迎えています。基本的人権の享有、人としての平等…は憲法にも謳われていますが、実態として障害のある人たちへの差別や偏見は根強く残存してきました。今回の一連の動きが、障害のある人もない人も共に安心して暮らせる地域づくり、つまり、ソーシャルインクルージョン(共生社会)の実現に向けた原動力になるのではないかと期待しています。

もちろん、目黒区の知的障がい者支援において、もえぎの会が大きな役割を期待されていることは言うまでもありません。様々な地域課題はありますが、もえぎの会の活動が、そして、地域で活動する様々な団体の実践が、目黒区の障害者福祉の推進に繋がっていくことを願っております。

しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月23日(土)開催予定です。恒例の後援会のバザーも企画していますので、献品に、ご協力をお願いいたします。

11月15日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本、日本人形の類、不揃いの食器、大量の古着

(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153 岡田)

沢山の方に参加して頂き、感謝の気持ちを表すような企画を進めています。来た方が笑顔になれる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られて狭いので、お隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。



もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

毎年恒例のもえぎの会事業報告会および後援会総会を、7月13日(土)に目黒区合同庁舎大会議室において開催しました。例年に比べ、早い梅雨明けとそれに伴う猛暑でしたが、行政、議会、学校、福祉団体などの関係者、後援会員の皆様、利用者、ご家族、スタッフなど、昨年より多い約150名の方に出席していただきました。

最初は後援会の総会で、昨年度の事業報告、決算報告に続き、事業計画、予算を承認していただきました。改めて、もえぎの会への支援、地域での啓発活動をしていただくことになりました。

引き続き、法人事業報告会を行い、野村理事長の挨拶、来賓を代表して青木英二区長と鈴木隆道都議会議員に祝辞をいただきました。その後、パワーポイントを使用して、「もえぎの会 活動報告」を行い、10年間の推移、事業の状況、日常活動の状況、イベントや行事の開催状況などを報告していただきました。2013年度は、法人として「支援の拡大」を年度のテーマにして、新しいグループホームの建設や各事業所とスタッフ自身の支援力の向上を目指して取り組むことを報告しました。引き続き、橋本きんいち区議会議員長の区議会議員紹介、乾杯のご発声により、懇親会が始まりました。



青木区長祝辞

料理は、しいの実社がランチでお世話になっている後援会会員の葉隠勇進に担当していただきました。懇親を目的の一つとして、日頃、お話しできない来賓の方や後援会会員、しいの実社の家族や利用者、スタッフなどが、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で歓談、交流できました。途中には、野村理事長のご指名により、参加の方にお言葉をいただきました。後半は、「チーム ヤマさん」の演奏となり、利用者の多くは、舞台の前の方に集まり、楽器を体験したり、歌ったり、踊ったりして楽しい時間を過ごしました。最後は、しいの実社の利用者にインタビューをし、今年入社したスタッフの挨拶と手締めでお開きとなりました。



料理を楽しむ



利用者全員で締め

事業の拡大とともに、より一層、行政、関係者や地域の方々など多くの方々のご理解、ご支援をいただくと共に、法人、家族、スタッフは地域に協力し、貢献することを改めて認識する会となり、今後とも多くの障害者が、安心して、充実した生活をする事ができる場の確保を目指すために課題をひとつひとつ克服する必要性を感じる会となりました。ありがとうございました。

秋のイベント販売スケジュール

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 10月26日(土) 10:00~15:00 第10回めぐろ地域福祉のつどい | 中目黒GTにて |
| 10月26日(土) 10:00~14:00 えのき祭 | 大橋えのき園にて |
| 10月27日(日) 10:00~15:00 中目黒公園祭 | 中目黒公園にて |

* しいの実社では、5~6月、10~11月の販売の多い時期にボランティアを募集しています。ご興味がありましたら、お気軽にしいの実社ボランティア担当(鈴木美那)までご連絡ください。

しいの実社 宿泊研修旅行

9月5日(木)、6日(金)に利用者、スタッフ、ボランティアさんを合わせて、総勢73名で、「美人の湯」水上温泉に行きました。1日目の集合時間の時は大雨になり、スタッフも利用者も雨に濡れながらの出発となりました。しかしながら、その後は、普段の行いの良さもあり、徐々に天気も回復し、傘をさすことなく過ごすことができました。

1日目のお昼は、三大うどんの1つ「水沢うどん」を頂き、その後、「おもちゃと人形自動車博物館」に行きました。館内には、昔の街並みや駄菓子屋からアイドルのプロマイド、古い自動車、人形の展示など年齢層の幅広いしいの実社にとっては、それぞれが楽しめる内容になっていたと思います。

見学が終わったら、いよいよホテルへ。今回は、「ホテル聚楽」に1泊。温泉に入った後は、みんなの楽しみにしている宴会へ。食事もそこに、お待ちかねのカラオケタイム。利用者の人数が多くなり、どの曲も1番までとして、より多くの方に歌ってもらうようにしました。宴会後は、2次会のカラオケに参加する人、温泉に入り直す人、就寝する人など体調や思いにあわせて過ごしました。

2日目は、朝食後、「たくみの里」へ出発し、グループごとに事前に決めておいた体験を行い、昼食をとりました。工芸作品を作ったり、そば打ち体験をしたり、リンゴ狩りをしたり、とそれぞれ良い思い出になりました。

今回の宿泊研修旅行を行うにあたっては、後援会の方に旅行費用を援助して頂き、ボランティアで参加していただいた方にはスタッフをフォローして頂き、ありがとうございました。毎年、利用者の方が楽しみにしていますので、今後も継続できるようにしたいと考えています。



水沢うどんに大満足



リンゴ狩り

そば打ち体験



全員集合!!

学大店より

一昨年から、学芸大学東口商店街振興組合が主催する「孀恋キャベツ祭りin学芸大学」というイベントに参加しております。今年は8月20日～31日に開催されました。

しいの実社学芸大学店では、今年は孀恋キャベツを使った「キャベツポテチバーガー」を販売しました。

期間中はしいの実社を含む18店舗で孀恋キャベツを使ったメニューが登場したり、抽選会や焼きトウモロコシの無料配布などが行われていました。

これからも商店街の一員として、できる限り協力をして、商店街を地域の皆さんとともに盛り上げていきたいと思ひます。ぜひ、しいの実社学芸大学店をご愛用ください。天然酵母の美味しいパンのほかに、クッキー、ラスク、織物、クラフトなど色々な商品を取りそろえ、利用者、スタッフが笑顔でお出迎えします。



キャベツポテチバーガー

株式会社 五十嵐金物店

「自由が丘駅前のお鍋の塔のあるお店、といえば、多くの方が、『あー、あのお店！』と言っていただけます。こんな素晴らしい場所にお店があるのもご先祖様のおかげです」とおっしゃるのは、五十嵐金物店3代目店主の貴義さんです。昭和28年の自由が丘デパートの誕生と同時に五十嵐金物店も開業され、まもなく60年になります。

5000点以上の商品があふれる店内は、ないものはないという感じで、次から次へとお客様が来店されます。昨今は、家事も明るく楽しんでというコンセプトで、カラフルなアイデア溢れる便利グッズが求められますとのお話し通り、本当に見ているだけでウキウキして、なるほどと思う商品が並んでいます。お話を伺っている間も、途切れないお客様や電話での問い合わせにてきぱきと対応される奥様の

目黒区自由が丘1-28-8
自由が丘デパート1F
TEL.03-3717-0227



五十嵐貴義 社長ご夫妻



沢山の商品の陳列

の笑顔が印象的でした。こちらの店舗の他に目黒区内の福祉施設や公共施設に配達されているご主人は、その度に、皆さん頑張っているなあという思いをお持ちでした。そして自分も何か手伝えなかつたかと思っていた時に、もえぎの会を紹介されたのが後援会に入っていたきかけになりました。地域での活動にも精力的に取り組まれ、間近に迫った「熊野神社大祭」や有名な「女神まつり」では、宣伝企画部長としてお忙しい日々をお過ごしです。温泉が遊び場でしたとおっしゃる登別出身のご主人の温泉巡りと焼き鳥屋さん探訪のリフレッシュタイムもなかなか取ることが難しいようです。これからもご活躍をお祈りします。

ひもんや 内科 消化器科 診療所

来年1月に開院10周年を迎える「ひもんや内科・消化器科診療所」の笹島雅彦院長は、地域を支えるお医者様としてご活躍中です。もえぎの会後援会には、開院とほぼ同時に創刊された「ひもんやだより」に、ご近所として紹介していただいたご縁で入会して下さいました。毎月1回「学級新聞のノリで」とおっしゃいますが医療情報の解説や近隣の紹介、俳句の投稿など、発行部数は約300部です。

目黒区碑文谷2丁目6-24
TEL.03 - 5704 - 0810
<http://www.himonya-naika.jp>



笹島雅彦院長

笹島院長の取り組みの一つに「胃がん対策」があります。大学時代からのご研究で、胃がん危険度に応じた内視鏡検査とピロリ菌除菌を推奨されています。採血検査でピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の度合いを調べることで胃がんになりやすいか、なりにくいかわ、4段階で診断することができます。ピロリ菌感染のある人は、早い段階に除菌することで、胃がんになる危険度を下げることができることもわかっています。これは胃がんリスク検診(ABC検診)として、現在目黒区の住民検診にも採用されています。詳細を是非ご覧くださいと熱いメッセージを頂いています。

認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 事務局
TEL. 03-3448-1077 URL. www.gastro-health-now.org
胃がんリスク検診(ABC検診)病院・クリニック検索ナビ
<http://abc-sg.org>

「これからは税金や医療費負担が大きくなり、医療や福祉に関しても金銭感覚が求められる時代です。医療機関も商売ですから患者さんに来てもらわないと困りますが、より適正な検査や治療を心掛け、国民みんなで痛みを分かち合い、医療や福祉が広く行き渡るよう改善の余地がありますね。しいの実社のようなところも自助自立の精神で極めて行ってほしい。また障害の有無に関わらず、スキルを身に付け、質のいい物を生み出して『なくてはならない人』になって自立する、そんな姿勢が大切でしょう」とお話しくださいました。



診療所の玄関



今年創立30周年を迎えられた「株式会社フィール・アド」は求人や転職を中心に新聞、雑誌、インターネットによる広告代理業務の会社で、各種広告物や印刷物、WEBサイトの企画・制作など幅広く事業を展開されています。もえぎの会でも「活動30周年、法人10周年」記念事業のDVDを作成していただきました。J-WAVEが流れる自由な雰囲気の中で、まさに時代を代表するような会社ですが、高橋邦彦社長は皆に伝えたい大切なメッセージをお持ちでした。その一つは「人対人が良い仕事を作り上げる」ということです。創業から今まで痛い目にあったこともありましたが、それ以上に良いことが沢山ありました。それはいろんな人に助けてもらったことです。相手との連絡にしても、10回メールするなら1回直接会う。顔を見て生の声を聞いて話せばそこに何かがあり、何か生まれます。人柄が分かり、信頼関係ができてくるのです。そして次は「自分の関心のあることだけではなく社会全体に目を向けて欲しい」ということ。クリックして、見たいところだけ見ないで、例えば新聞を読んでいろんなことを目にして欲しい。政治のことなどはるか離れたことではなく、必ず自分たちの仕事に絡んでくると、教えて、気づきを与える、昔で言えば「近所のうるさいおじさん」でありたいとおっしゃいます。もえぎの会については、普通の会社の経営以上に運営は大変なことだと思えます。事業報告会にも出席させていただきましたが、もえぎの会もこれから高齢化が進み、親亡きあと自立が出来るのだろうかと心配が残ります。人件費、施設、土地等問題はありますが、他の福祉法人等が多角的な経営で打開策を探っているようにもえぎの会にも事業の枠を広げていていただきたい。ここにも「人対人」だからそこにプラスアルファで作り辛くなっている「絆」も加え、先へと進んでいってほしいとおっしゃいます。

またフィール・アドは社会貢献活動にも力をいれていらっしゃいます。東日本大震災の折も、東京目黒ロータリークラブを通じて、グループホーム再建や鎮魂愛の鐘建設の支援、義援金、大船渡市への軽トラック寄贈をはじめ、地域の清掃やお祭り、子どもたちの支援などです。ご多忙な日々の中にも、これからの季節、ご趣味の家庭菜園もお楽しみ下さい。



高橋邦彦社長



制作して頂いた記念DVD

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

沙羅の家

沙羅の家 大岡山 オープン！

世話人 長谷茂雄

今年10月より、もえぎの会として3軒目となるグループホーム「沙羅の家 大岡山」がオープンしました。定員7名で、利用者や運営の安定を確認しながら、順次、入居する予定です。

この土地は、宮崎ま里様が、長く住まれ、目黒区に寄贈されました。目黒区はご遺志を尊重し、グループホームを整備する計画を立て、運営事業者にもえぎの会が選定されました。

しいの実社の平均年齢が、今年4月で、39.5歳となり、高齢化が急速に進んでいます。本人の高齢化とともに、家族の高齢

化が進み、安定した生活の場が確保できない状況が増えており、グループホームの整備は喫緊の課題として、取り組み続けなければなりません。

沙羅の家 大岡山は、宮崎ま里様のご厚情により、親なき後の知的障害者が、大岡山の住民として、この地域で生活できますことに心より感謝申し上げます。



沙羅の家 大岡山 外観



宮崎様に感謝の銘板を設置した玄関



シンボルの沙羅の木

碑文谷八幡宮例大祭

南一丁目町会、向原西町会、清水町会

9月14日に恒例の碑文谷例大祭の町内神輿に参加してきました。最初に、しいの実社の地元である清水町会に、利用者と一緒にご挨拶に伺い、手作りの料理をごちそうになり、お話しをしました。

南一丁目の御神輿は、夜6時30分出発し、利用者と新入スタッフを含め7名参加しました。御神輿初参加の方がいましたが、その迫力に圧倒さ

れながらも、見慣れた町のいつもとは違った雰囲気を感じ、お祭りを楽しむことができました。向原西町会は、翌15日の予定でしたが、台風予報が出て、中止となりました。しかし、地元の皆様にご挨拶をすることはできました。

地域の方から声をかけていただくことも増えており、少しずつ地域に溶け込んできているという実感をしました。



南一町会
利用者とスタッフ



清水町会 今井会長、
林副会長と一緒に



向原西町会

編集後記

今年も無事に充実した宿泊研修旅行を終えることができました。普段の活動や生活も、地域の皆様や多くの人に支えられていることを改めて感じる半年でした。これからも、どうぞよろしくお願い致します。(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話：03-5724-7153

e-mail : shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

